

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県生涯学習センター
施設所在地	岡山市北区伊島町3丁目1番1号

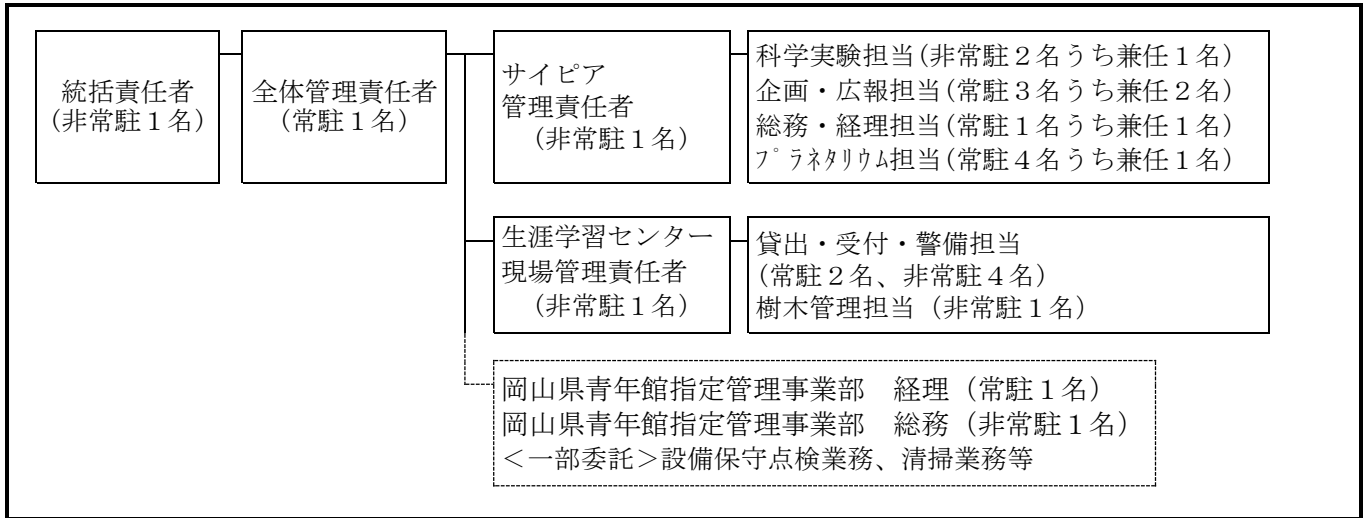
【指定管理者の概要】

名 称	一般財団法人岡山県青年館	代表者	代表理事 牧野 康平
所在地	岡山県岡山市北区津島東一丁目4番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	- 生涯学習センターの施設等の維持管理に関すること。 - 生涯学習センターの施設等の利用の許可に関すること。 - 人と未来の科学館サイピアの運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件・人)

		施設等の利用 (件)	投影の観覧 (人)		
許可 件数	6年度	3,310	28,437		
	5年度	3,367	31,343		
	増 減	△57	△2,906		

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	- 清掃業務 - 昇降機維持管理業務 - 空調設備保守業務 - 樹木管理業務 - 遊具保守点検業務 - その他施設・設備保守点検業務
施設等利用許可業務 (4月～3月)	- 受付、総合案内、監視・巡回業務 - 施設等の利用許可 (3,310件) 〔主な内訳〕 ミーティング室6室1,520件、大研修室229件等 - プラネタリウム投影の観覧 (28,437人)
自主企画事業	サイエンスショー、工作教室等 9,247人

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	施設等利用料	投影の観覧料		合 計
収 入 額	9,736,190	5,320,330		15,056,520
利用件数	3,310	28,437		31,747
減 免 額	4,752,300	2,295,530		7,047,830
減免理由	県が主催・共催した事業、学校教育活動等			

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6年度	対前年度増減額	5年度	備 考
収 入 額 A		96,991,106	4,045,055	92,946,051	6年度収入額 その他の主なもの ・ 両立支援等助成金 636,000円 【主な増減内容等】 (収入) ・ 指定管理料のうち 賃金及び物価の上 昇に応じた増額分 3,014,054円 (財源は全額国庫) ・ 料金改定に伴う 施設利用料の増 689,500円 (支出) ・ 賃金上昇に伴う 人件費の増 2,380,694円 ・ プラネタリウム保守 点検費の増 691,460円
内 訳	指定管理料	76,067,054	2,873,054	73,194,000	
	利用料金収入	15,056,520	302,490	14,754,030	
	事業収入	5,190,372	192,544	4,997,828	
	その他	677,160	676,967	193	
支 出 額 B		96,728,631	3,055,696	93,672,935	
内 訳	人件費	45,880,976	2,380,694	43,500,282	
	管理運営費	43,634,143	753,557	42,880,586	
	事業費	7,213,512	△78,555	7,292,067	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		262,475	989,359	△726,884	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		73,053,000	△141,000	73,194,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルに基づき、適切な管理・運営が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の破損・紛失はなく、保守管理等が適切に履行されていた。また、プラネタリウムの定期的な点検を行うとともに、緊急時の対応のため、機材のメーカー等との連携を密にしている。
導入効果	①利用状況	C	施設貸出数及び施設利用者数は、研修会や講座の規模縮小の影響等により減少した。サイピアについては、隣接する太陽の丘公園の遊具を使用禁止にして以降、利用者数の減少が続いている。 【利用者数】 センターR6:62,465人←R5:65,946人 サイピアR6:82,102人←R5:87,951人
	②収支状況	B	経費削減に努めたことに加え、施設利用料金の改定等により利用料金収入が増加し、収支状況は黒字となった。
	③サービス向上	B	自主企画事業や利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めた。
管理運営業務全般		B	協定書及び事業計画書に基づき、適切な管理業務がなされ、サービス向上の取組も実施されていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。

D：予定していた業務水準を下回った。